

日中友好新聞

府連通信

2010年3月号
 日本中国友好協会
 大阪府連合会
 〒530-0013
 大阪市北区
 茶屋町10-6
 阪急北ビル4階
 TEL06-6372-8131
 050-3413-6491
 FAX06-6372-8132
 郵便振替口座
 00970-5-8978
 E-mail:jcfa@j
 t8.so-net.ne.jp
 ホームページ
<http://www005.jp>
<http://www005.jp>
[pp.so-net.ne.jp](http://www005.jp)
[/jcfaosaka/](http://www005.jp)

日中友好春の集い 中国語でのあいさつや

ビンゴゲームで盛り上がる

三月七日あべの楓林閣で「日中友好春のつどい」が開かれました。藤後副会長が主催者を代表して開会あいさつ、門真支部・中村さんの乾杯の音頭で開宴しました。中村さんは若い中国の女性と結婚したばかりで、新生活の苦労を話しながら、楽しそうにお二人で参加されていました。門真支部から中国出身の陳さんなど五人が、東大阪支部から和服のお二人と廣原さんが、堺支部や西支部、守口支部、吹田支部、中国語教室の各クラスや太極拳の各教室からも多彩な参加者がありました。

中国語でのあいさつや自己紹介が続き、日頃の研鑽振りが垣間見られました。ビンゴゲームでは三回目のビンゴでリーチの声が上がりましたが、一番は西支部の山田さんが会費よ



高価な景品をゲット、二番は守口の高木さん、三番は門真の中村さんなど、全員にもれなく景品があたり大いに盛り上がりました。太極拳ならば教室の金治さんが中国の歌を、渡辺会長がモンゴル・ジンギスカンの出陣の歌を披露され、太極拳は和服の栗山さんを交えて、二四式太極拳の表演が続きました。

片山理事長から「今年には日本中国友好協会創立六〇周年の記念すべき年です。六月の全国大会までに、700名以上の大阪府連組織にしましょう」との閉会あいさつをかねて訴えがありました。



楓林閣の中華料理と紹興酒などを満喫し、四〇名の参加者は「日中友好春の集い」を楽しくすごし、再見！とお別れしました。

四月の映画会は 胡同の理髪師

前号でもご案内しましたように、中国語講座の生徒さんたちが中国語を学ぶために自主的に毎月一回、映画会を始めてから一年以上になります。四月の映画会は「胡同の理髪師」を上映します。この映画の主人公の靖（チン）爺さんは九十三歳でなお元気に現役で理髪業を営んでいます。映画の舞台になっているのは北京・天安門の北西にある鐘楼・鼓楼周辺の胡同です。都市開発の波が押し寄せ、古い建物がど



総会以後十名が入会・西支部で歓迎会

二月十六日、梅田の居酒屋で、も創立六〇周年を迎えます。昨年十月の総会以後に入会された方々の歓迎会を開きました。う大きな荒波を乗り越えて、昨仕事や急用で不参加の方もありましたが、三名の新入会員の方を訴え、十名の入会が有りまして参加されました。それぞれ太極拳を通じての入会で自己紹介されました。

支部長の歓迎のあいさつと乾杯の音頭で開宴、参加者からも自己紹介と歓迎のことばがあり、長時間にわたってゆっくり交流する事が出来ました。今年には日中友好協会

中国語 無料入門レッスン さあ！一緒に始めよう！

これから中国語を学んでみたい人のための入門レッスンです。いちど、挑戦してみませんか？
 と き：3月30日（火）朝の部10：00～11：30
 夜の部18：30～20：00
 4月 3日（土）朝の部10：00～11：30
 参加費無料・定員15名、参加対象は初心者の方

第92期中国語講座4月から開講

中国人との日常会話ができることをめざしています。会員・学生割引あり、紹介キャンペーン図書券を贈呈（4/5から週一回・二時間・6ヶ月20回受講）
 受講料・44,000円 入学金・18,000円
 二科目受講は88,000円を66,000円に割引
 ＊授業の見学は無料で二科目までならOKです。
 ＊プライベートレッスンも随時受付中です。

春節商戦！若い中国富裕層の購買力！

上海市民は一世帯・四万円を支出

春節になり、日本各地では春のは僅か一パーセントですが、節休みを利用して日本を訪れる中国富裕層にターゲットを絞った商戦が繰り広げられています。

中国富裕消費者の平均年齢は世界平均水準よりも低く、アメリカの富裕家庭よりほぼ二〇歳、そして日本と比べても大変若いことがわかりました。

最新の調査によると、2008年の中国の富裕家庭は百六十万世帯。中国のすべての都市の家庭の中で富裕基準に達している

富裕層の急激な拡大が、贅沢品への需要をますます高めています。

市民の収入が上がるにつれ、最初は身分や地位の象徴と考えられてきた贅沢品は、いまや多くの若者にとつて自分の生活の理念を具体的に表すものとなっています。

中国富裕消費者の平均年齢は世界の平均水準より低く、四五歳以下



今年春節で上海市民は一世帯当たり平均2712元(約四万円)を支出、年収の割にも相当します。量販店では年間売上の約二割を、デパートや小売企業は春節期間に二七・五億元をこの時期に売り上げます。

下の富裕層の割合は、アメリカでは僅か三〇パーセント、日本の十九パーセントに比べて、中国ではなんと全体の八十パーセントを占めています。

低所得、買い控え・・・日本の若者にとつては景気の良い、なんとも羨ましいような話です。

西支部三月の行事 水餃子を作ります

三月十四日(日)午後一時から尼崎・労働福祉会館で大阪西支部主催の水餃子を作る会を行います。

会費は実費のみで500〜千円くらいの予定です。皮から作って出来上がればみんなで味わいます。アルコールの持ち込みもOKです。

四月四日(日)には、うつぼ公園で手料理を各自一品持ち寄つて花見を予定しています。

参加希望者は府連事務所までご連絡ください。

禍を繰り返すことのない真の友好が生まれるのです。

2008年の改革開放三〇年が過ぎた二年後に、GDP世界第二位と成る中国のパワーは衰えを見せません。このパワーを「盛世中国」と表現しますが、この言葉の意味は国に勢いが有る事であり、今アメリカとの間で

グーグル問題やドライダマのアメリカ訪問、台湾への武器輸出それに貿易不均衡での元切り上げ問題など神経戦が繰り広げられています。

一方、日本の外交は！??? (大阪府連常任理事 松原弥寿夫)

歴史から何が見えるか

共有することでも共存共栄の礎を築く

日本と中国の1930年代から始まった一連の中国侵略の歴史認識の溝を埋める作業が、日中友好条約三〇周年(08年)に合わせて取り組まれましたが、双方の意見に隔たりがあり合意が見られず、二年遅れで第一次報告書がまとめられました。

満州事変・柳条湖事件(1931)に始まり、盧溝橋事件(1937)から本格的に侵略の拡大を進めその延長線上に南京虐殺事件が

発生するに至った一連の日中双方の歴史認識が論議されたのですが、侵略する側とされる側では当然、歴史の見方に大きな隔たりがあります。

本格的な侵略のきっかけになつた盧溝橋事件の原因が、どちらが先に発砲をしたとか、南京虐殺(殺人、強姦放火、略奪)の実数などの認識が大きく食い違

うなど、作業は難航したようだが、両論併記で一応歴史検証

も確かな事実です。原因を作つた日本が謀略と領土拡張の侵略戦争と認めないのは歴史をゆがめる行為以外の何者でもありません。

これらの歴史認識を共有すること

隣善友好と再び戦争の惨

れ

太極拳大阪府連・なんば教

4月19日開講(12回・毎週月曜日)

練習時間: 18:30~20:30

会場: なんば府立体育館など

入会金: 3000円、受講料: 15000円

連絡先: 大阪府連06-6372-8131

きりえ・行事予定

第42回全国きりえコンクール

応募締切り: 4月14日(水)

※「大阪」ではまとめて送ります。

府連への搬入は4月12日(月)まで

第33回全大阪きりえ美術展

5月7日(金)~12日(水)

エル・おおさかギャラリー



2009年優秀作「興禮門の衛兵達(韓国)」田中 陽子